

消費税増税阻止誓い合い意気高らかに 上越民主商工会が「青旗びらき」

商工業者の暮らしと営業を守る活動を展開している上越民主商工会(民商)の新年行事「青旗びらき」が、11日午後行われました。

小規模な商工業者にとっては、消費税の増税はたいへんな脅威です。そもそも消費税は、商工業者に納税義務を負わせる「営業税」がその本質であり、多くの小規模業者が「自腹」で納税しているのが実

態です。ですから、増税されても、その分を価格に転嫁できず、ただでさえ少ない利益をさらに削られるということになります。

こうした消費税増税をはじめ、T P P参加や原発再稼働など、「したい放題」とも言える安倍内閣の暴走に、今年こそストップをかけようと、全員で誓い合いました。

橋爪議員が親族の葬儀で出



乾杯の音頭をとる佐藤会長

席できないため、「青旗びらき」には上野議員と平良木議員が参加し、それぞれ挨拶しました。

「今年も市民の命と財産を守り抜く」との誓い新たに 12日 上越市消防出初式 厳粛に



12日、上越文化会館で、上越市消防出初式が行われました。その中で、仕事を持ちながら、市民の命と財産を守るために、日々活動している消防団の皆さんなどが、今年一年の市民の安全を誓い合いました。

終了後は、各方面隊の消防車が、謙信公大通りをパレードしました。

橋爪議員が親族の葬儀で参加できないため、式には上野議員、平良木議員が参加しました。

「スキーの日」記念し、レルヒ顕彰会 1月12日 金谷山

1月12日は、1911年に、レルヒ少佐が高田で初めてスキーを指導した「日本スキー発祥の日」です。それを記念して、この日は「スキーの日」と定められました。

この日の午後、金谷山のレルヒ少佐像の前で、「レルヒ顕彰会」が行われ、スキー関連団体、地元町内会の皆さんなどが参加し、レル

中郷ひばり荘 公営は3月で廃止 建設費補助し民設民営で改築へ



9日の市議会厚生常任委員協議会で、市は日帰り温泉施設中郷ひばり荘を、公共施設としては3月末で廃止する方針であることを報告しました。これは建築後40年経過していることや、アスベストの使用がわかったことなどから、解体・撤去するとしたものです。しかし、中郷区では、このひばり荘の改築が、合併の条件として住民と約束した「地域事業」に登

載されていることから、このまま廃止というわけにはいきません。そこで、市は、温泉施設として継続することを条件に、民間事業者を公募して建設費を補助するということになりました。市は、一昨年来、「公の施設の再配置計画」で市の施設の大規模な「リストラ」を進めており、この中で日帰り温泉施設は「可能な限り民間に譲渡する」としています。こうした中で、この施設にだけ、建設費の補助を行うとの方針です。

見書を提出しています。(昨年4月10日)今回は、こうした住民の声が一部生かされた形です。市は、「補助金交付は地域事業への登載を考慮した『特例措置』」としていますので、今後他の温泉施設に適用される保障はありません。そもそも、公の施設を片っ端から「リストラ」するというやり方そのものを見直し、住民にとって必要な施設は、市の責任で継続するという姿勢を貫くべきです。

中郷区地域協議会では、「老人福祉及び地域住民の憩いの場として定着し活用」「存続に向けて、まちづくり協議会をはじめ、地域住民が利用促進を図ってきた」などとして、存続を求める意

審議に当たった平良木議員は、「民間施設になっても、今のよう使いやすい施設になる保障はあるのか」「公営で赤字のものを、民営なら赤字にできないというのは矛盾ではないか」と、問題点を指摘しました。



ヒ像に献花しました。式典に先立って、「レルヒの会」の皆さんが当時の一本杖スキーの妙技を披露し、喝采をあげました。

参加した平良木議員は、「高田のスキーの歴史は市民が大事に育てた歴史。これからも語り継いでいきたい」と語りました。

日本共産党上越市議員団ニュース
No. 393 2014年1月19日

連絡先
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)